

市政について 問う!

一般質問

第二回（九月）定例会では、十八人の議員が市政について質問しました。

議員名	主な質問項目	掲載頁
霞 恵介	緊急事態に対する危機管理、学校施設の整備	7
深田 昇	空き家・空き地の管理、公共交通網、ごみ集積施設の整備	7
渡部一二実	マイナンバーカード交付率向上策、プログラミング教育	8
渡邊 博夫	学校教育、カリキュラム・マネジメント、風水害等の災害対策	8
加藤 明子	自然災害対策、避難対応策、これからの中心市街地	8
小澤 隆	先端テクノロジーの活用、スマート自治体	8
井原三千雄	農業振興、今後の公共施設のあり方	9
江本 浩二	清水町外原区との覚書、公文書の保存、管理、公開	9
山下富美子	保育の無償化、私立幼稚園の給付への移行、市税の低迷傾向	9
小泉 宣子	本市の女性の健康支援	9
片岡 章一	子供の貧困対策、浄化槽における汚水処理対策	10
長田 吉信	防災・減災対策、マイ・タイムライン作成、防災士取得推進	10
平野 謙	多文化共生社会の実現	10
梅沢 弘	新貨物駅の整備期間延長、鉄道高架に係る広報紙、移住定住策	10
尾藤 正弘	特別支援児・者への支援、Sea 級グルメ誘致、企業誘致	11
村木 豊	コミュニティ・スクール導入	11
岡田 進一	介護保険制度、高齢者支援	11
川口 三男	総合計画の財政的裏づけ、人口や計画策定の対応策	11

※形式として質問形式を記載しています。

- 一括：通告した全ての内容を一括して質問した後、市当局が一括して答弁する方式
- 一問一答：議員からの一つ一つの質問ごとに、市当局が答弁する方式
- 複合：1回目は一括で行い、2回目以降から一問一答に切り替えて行う方式

全ての質問項目
(通告一覧)はこちら



地域で問題となっている 空き家解消に向けた措置状況は

問 地域で問題となっている空き家を解消するために本市が行った助言や指導、勧告などの措置の状況は。

答 都市計画部長／平成三十年度末までに通報や自治会からのアンケートにより把握した空き家三百六十六件のうち、実際は管理されていた空き家七十二件を除く二百九十四件に対し、助言や指導を行った。その結果、相続人が不存在または行方不明の物件十七件を除く百七件の管理改



問 地域で問題となっている空き家を解消するために本市が行った助言や指導、勧告などの措置の状況は。

答 都市計画部長／平成三十年度末までに通報や自治会からのアンケートにより把握した空き家三百六十六件のうち、実際は管理されていた空き家七十二件を除く二百九十四件に対し、助言や指導を行った。その結果、相続人が不存在または行方不明の物件十七件を除く百七件の管理改

本市における教職員の多忙化解消 に向けた留守番電話の導入は

問 公立小中学校の教職員に多忙感を感じさせるものに勤務時間外の電話対応があるが、多忙化を解決するために留守番電話を導入する考えは。

答 教育次長／令和元年度から緊急連絡を除く学校への連絡時間を、小学校では十八時まで、中学校では十九時までの運用としたい旨を保護者に周知し、協力を得てきた。その結果、夜間の電話対応は減少しているが、今後もこの状況が続くとは限らず、留守番電話や学校の業務終了をお知らせする音声案内なども有効な対応策であり、今後、その導入などについて検討していきたいと

問 公立小中学校における洋式トイレの整備事業により、全校のトイレの五十%が洋式に整備されたが、整備後の取り組みは。

答 教育次長／子供たちからは、トイレ全体が暗い、臭い、汚いといった声があるため、これまで掲げてきた洋式化の数値目標の達成に満足することなく、今後さまざまな意見を伺い、トイレ全体の整備内容を検討するとともに、児童生徒のトイレ清掃の内容についても学校と協議し、気持ちのよいトイレ環境となるよう努めていく。

深田 昇 形式 一問一答

霞 恵介 形式 一括